

2019年9月25日

各 位

株式会社 北海道銀行

鷹栖町と株式会社三友システムアプレイザルとの
「空き家対策に関する連携協定」の締結について

北海道銀行（頭取 笹原 晶博）のコーディネートにより、鷹栖町（町長 谷 寿男）と株式会社三友システムアプレイザル（代表取締役社長 堂免 拓也）との間で「空き家対策に関する連携協定」を締結しましたので、お知らせいたします。

記

1. 経緯

北海道銀行は、昨年度より「空き家対策の担い手強化・連携モデル事業」（国土交通省の補助事業）を実施している株式会社三友システムアプレイザルに対して、北海道への事業展開を提案し、候補地として当行と「地方創生に関する包括連携協定」を締結している鷹栖町を紹介しました。その後、3者での協議等を経て、このたびの連携協定の締結に至りました。

2. 連携の目的

鷹栖町と株式会社三友システムアプレイザルは、空き家の有効活用や解消等を図ることを目指して協働し、北海道で初めて前述のモデル事業として、鷹栖町をフィールドに「空き家調査員養成事業」を実施します。

当行は、本事業実施における両者の協働に対して助言やサポートを行います。事業スキーム等については別紙を参照ください。

3. 締結式

(1) 日 時 2019年9月25日（水） 14時00分

(2) 場 所 鷹栖町役場 1階 応接室

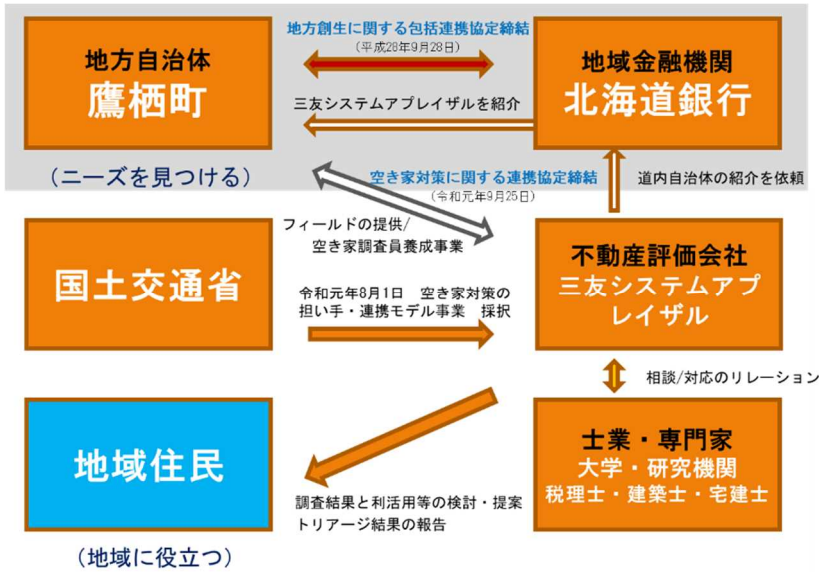
(3) 出席者	鷹栖町	町長	谷 寿男 様
	株式会社三友システムアプレイザル	取締役常務執行役員営業開発部長	田井 政晴 様
	北海道銀行	地域創生部地方創生担当部長	辻 英樹

以 上

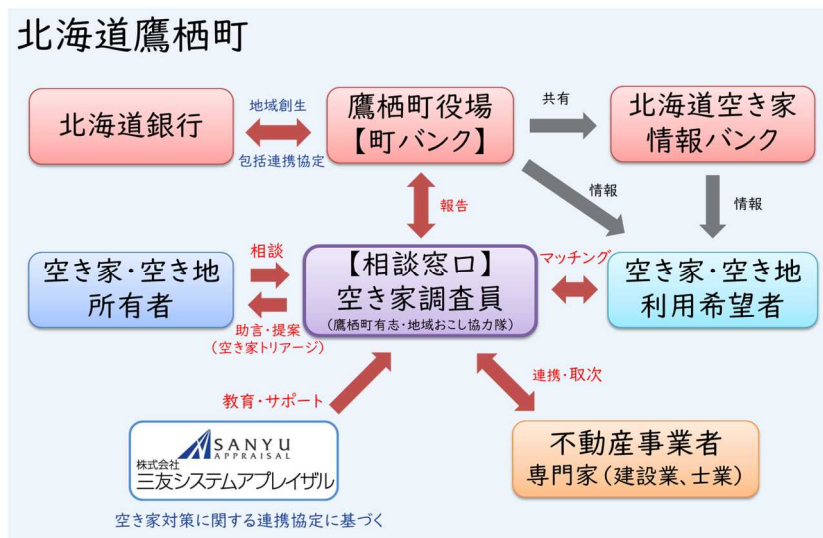
【本件に関するお問い合わせ先】

北海道銀行 地域創生部 辻・舟橋 TEL 011-233-1323
広報CSR室 小山・西東 TEL 011-233-1005

I. 産学官金連携を視野に入れた事業展開（ニーズ発掘から地域貢献）



II. 事業スキーム図（空き家調査員の育成事業）



III. 空き家トリアージ（空き家調査員を活用した情報提供）

空き家トリアージについて

空き家の実態把握を効率よく実施するための分類作業
 空き家調査を実施し、
 ・再利用可能⇒「緑」
 ・改修やリフォームを前提として再利用可能⇒「黄」
 ・再利用不可能だが、安全・衛生上問題がないもの⇒「赤」
 ・安全・衛生上問題があり、ただちに取壊しが必要⇒「黒」
 に分類し、色付けに基づいて、対策の優先順位付けをおこなう。

◎経済合理性の考え方を加味

三友システムアプレイザルの「空き家トリアージ」

空き家調査を実施し、
 ・市場性が高く、流通可能⇒「緑」
 ・改修・リフォーム等を施すことで流通可能⇒「黄」
 ・安全・衛生上問題はないが市場性が低く流通不可⇒「赤」
 ・安全・衛生上問題があり、且つ市場性が低く、取壊しが必要⇒「黒」
 に分類し、分類に応じた提案をおこなう。

【概念図】

黒	赤	黄	緑
市場性:低	市場性:低	市場性:高	市場性:高
安全性:低	安全性:高	安全性:低	安全性:高

低 ← 安全性 → 高

低 ← 市場性 → 高